

鳥取空港の収支について

令和 3 年 3 月 2 6 日
空 港 港 湾 課

空港運営の状況をわかりやすくするために、空港に係る経費を取りまとめた空港収支を作成しましたのでお知らせします。

なお、本県では、予算編成過程の公表を通じて、空港管理費や空港整備費などそれぞれの事業については別途、情報開示をしているところです。

また、全国の空港においても、運営コストの縮減や効率的な運営、有効活用を推進するために、空港収支が公開されています。

令和元年度 鳥取空港 空港収支

| (単位:千円) | | |
|---------------------------|------------------|----------------|
| 項目 | 金額(県) | 金額(運営権者) |
| 歳入 (A) | 29,527 | 536,948 |
| 運営費交付金 | 0 | 419,831 |
| 着陸料等収入 | 0 | 63,127 |
| 土地建物等貸付料収入 | 0 | 51,615 |
| 国庫補助金・交付金等 | 10,477 | 0 |
| 借入金 | 0 | 0 |
| 航空機燃料税 | 19,050 | 0 |
| 諸収入 | 0 | 2,375 |
| 歳出 (B) | 778,465 | 519,081 |
| 空港整備事業費 | 104,369 | 0 |
| 空港等維持運営費 | 572,724 | 519,081 |
| 土地建物借料 | 15,158 | 0 |
| 県有資産所在市町村交付金 | 24,247 | 0 |
| 借入金償還 | 61,967 | 0 |
| 歳入－歳出(C) = (A)－(B) | ▲ 748,938 | 17,867 |

注)

- ・平成29年度まで国際会館（現国際線ターミナル）については、空港ターミナルの機能を担うだけでなく、国際交流の推進を目的とした施設であったため、運営経費の大半が航空機の離発着と関係しないものであるとして、航空収支に含めていませんでした。平成30年度からは、一体化工事に伴い、国際線ターミナルとなり、空港ターミナルの機能のみとなったことから、国際線ターミナルも空港収支に含めています。
- ・令和元年度は航空灯火保守点検装置（配光測定装置）の調達、国際線旅客搭乗橋更新により、空港等維持運営費が増となっています。
- ・「空港整備事業費」は、駐車場整備などの大規模な整備費を計上しています。
- ・「空港等維持運営費」は、人件費、需用費、委託費、手荷物検査補助金、灯火施設の維持管理費などを計上しています。
- ・平成30年7月から、鳥取空港ビル株式会社と鳥取県営鳥取空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約の締結をしたため、鳥取県営鳥取空港特定運営事業の収支状況についても合わせて掲載しています。詳しくは、鳥取空港ビル株式会社ホームページ上の鳥取県営鳥取空港特定運営事業実施計画・実施状況報告をご覧ください。